

プレスリリース

旭化成バッテリーセパレータ株式会社、カナダ・ポートコルボーン市で湿式セパレータ新工場の起工式を開催

2024年11月18日

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、社長:工藤 幸四郎、以下「当社」)は、リチウムイオン電池(LIB)用湿式セパレータ※「ハイポア™」事業を承継した完全子会社である旭化成バッテリーセパレータ株式会社(以下、「旭化成バッテリーセパレータ」)が、11月14日(現地時間)にカナダ・オンタリオ州ポートコルボーン市において、「ハイポア™」の製膜・塗工一貫工場(以下「新工場」)の起工式を執り行いましたのでお知らせします。新工場は関係当局の許認可等を取得した後、当社と本田技研工業株式会社(以下「Honda」)による合弁会社により運営される予定です。



起工式の様子

起工式には、カナダ政府、周辺地域、Honda、ならびに当社グループの関係者などが出席しました。新工場は、年間約7億平方メートル(m²)の「ハイポア™」塗工膜の生産能力を有し、2027年に商業生産を開始する予定です。



本田技研工業株式会社 執行役常務 小澤 学 様



旭化成株式会社 常務執行役員 松山 博圭

旭化成株式会社 代表取締役社長 工藤 幸四郎 コメント

「この度のカナダでの工場建設にあたり、カナダ連邦政府およびオンタリオ州政府からのご支援、ならびにHonda、株式会社日本政策投資銀行のご参画に、心より感謝申し上げます。当社はポートコルボーン市に「ハイポア™」の新たな工場を設立し、高い生産性と低コスト生産を実現する

とともに、パートナーの皆さまとの協業を通じて、中長期で大きな成長が見込める北米市場でのシェア30%以上の獲得を目指してまいります。また、北米でのクリーンエネルギー化の推進を支援することで、グループミッションである世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献してまいります。」

※ LIBの正極・負極間に位置する多孔質膜で、正極・負極間でリチウムイオンを透過させる機能を有するとともに、正極と負極の接触を遮断し、ショートを防止する部材

以上

